



浅間嶺

小諸市立東小学校
学校だより
No. 5
令和3年7月7日発行

活動再開しました

「浅間嶺ワクワク大夢」

昨年度は1年間活動中止、今年度は2回延期となっていた「浅間嶺ワクワク大夢」開講式が6月26日に行われ、活動が始まりました。

今年度は、一昨年度に引き続き「バスケットボール」「パソコン」「お琴」「楽しい野球」「手品」「サッカー」「写真部探検隊」の7つに今年度新たに「キッズヨガ」が加わった計8つのサークルに92名の児童が参加しています（コロナ禍のため感染が心配される「茶道」「料理」「囲碁」は今年度行いません）。

初回は保護者も参加し、「手品」サークルでは、親子で楽しく手品を楽しむ姿が見られました。

地域の方に専門的な技術等を教わる「浅間嶺ワクワク大夢」をとおして、子どもたちが豊かな体験が出来ることをうれしく思います。



「キッズヨガ」



「手品」

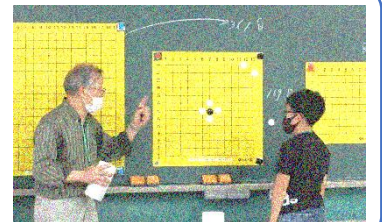
「読み聞かせ」

「おはなしはらっぱたんぼぼ」さんによる朝の読み聞かせが、コロナウイルス感染警戒レベルが下がったことにより今年度初めて6月23日、25日、28日の3日間に全クラスを分け、行われました。児童たちは久しぶりの読み聞かせに真剣な表情で聴き入っていました。



「放課後囲碁クラブ」

昨年度、1年間活動中止していた「放課後囲碁クラブ」も再開しました。7月2日に第1回目の教室が開かれ、4年生3名、5年生6名、計9名が「囲碁の里信州小諸づくり委員会」の5名の方に囲碁の専門用語やルール（将棋との違いも含め）、マナーを教わり、練習問題に取り組みました。とても分かりやすく教えていただき、児童は、次回からの実戦を楽しみにしていました。



眠育講演会

7月3日の参観日の3時間目に5・6年生の保護者と2～6年生の児童がTV放送で、東洋羽毛工業株式会社の“國井 修”さん（睡眠健康指導士）の講演を聴きました。

睡眠のよいこと3つ「元気になる」「勉強ができる」「運動・絵・音楽が上手になる」。大切にしたいこと3つ「眠る時間」「休みの日の起きる時間」「ゲーム機・スマホを使う時間」等のお話があり、東小の5・6年生と全国との実態の比較がありました。

東小は、全国と比べ遅くまで起きている児童が少ない、寝る直前までゲームやスマホを使う児童が少ない点が高く、休みの日に起きる時間が学校がある日より2時間以上遅い児童が多い点が改善点だと話がありました。

睡眠時間、メディアコントロールが良くできているのは、子どもたちの自覚だけでなく、保護者の方の協力も大きいと思います。今後も子どもたちの健やかな成長のために学校と保護者が協力して取り組めるようお願いいたします。



「プール学習」

5・6年生がきれいに掃除してくれたプール。6月21日にプール開きが行われ、水泳の授業が始まりました。梅雨が明けず、ちょっと寒いですが、児童たちは寒さに負けず頑張って学習しています。

